

平成30年11月19日(月) 13052号



株式会社 日刊金属

本 社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップルーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 info@nikkankinzoku.co.jp
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 72,000円(税別) データ12か月 84,000円(税別)
 6か月 36,000円(税別) 配信料 6か月 42,000円(税別)

10月銅市況動向

中国経済減速懸念も

LME在庫水準低下で小幅値動き

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)がまとめた2018年10月の銅市況動向は、減速懸念が出ている中国経済への政策期待がロンドン金属取引所(LME)の銅相場を下支えした。

月初は6,172.0ドルで開始。9月30日発表の中国9月製造業PMIが50.8と市場予想を下回る結果だったことを受け、同国経済の鈍化が懸念された。一方、同日には米国とカナダとの間で北米自由貿易協定(NAFTA)再交渉が妥結したこともあり、貿易摩擦懸念の緩和、LME在庫の減少等もあり銅相場は小幅に推移。

中旬は、11日の世界同時株安を受けて銅価格は下落したものの、12日のアジアでの株価回復により値を戻した。また、16日に発表された中国の9月卸売物価指数(PPI)が前年同月比3.6%と8月に比べ鈍化したことから、中国経済の減速懸念が売り材料となった。その後の中国国务院や中国人民銀行による民間企業支援方針の表

明等による中国の銅需要拡大への期待感から、銅価格は横ばいで推移した。

10日～15日・19日以降は、3か月先物価格に対して現物価格が高いバックワーデーションとなったことから足元での銅の供給は逼迫しているとされ、価格は、6,100.0ドル～6,300.0ドルの間を推移した。

月末に入ると、29日にはトランプ米大統領が11月の米中首脳会談の結果次第で対中追加関税措置をとるという警告を発したことが嫌気され銅価格は下落、6,073.0ドルで月を越した。LME在庫は31日に13万7,600トンと、2008年7月28日以来の低水準となった。

需給動向では、BHPビリトンは、2018年から2019年の年間銅生産量について以前発表した見込み値167万5,000トン～177万トンの下方修正を月内に発表。新たな見通しは162万トン～170万5,000トンとした

インド需要取り込みへ

現地子会社設立を決定

大紀アルミニウム工業所

大紀アルミニウム工業所は、インドに100%出資の子会社を設立する方針を決めた。2018年12月の登記を予定している。

子会社の名称は、「DAIKI ALUMINIUM INDUSTRY INDIA PVT.,LTD.」。資本金は14億2,800万インドルピー(約2,200万円)とした。

インド東部のアンドラプラデシュ州の工業団地内に6万平方メートルの用地を確保した。現地では、破碎スクラップ選別システムを導入するとともに、アルミニ二次合金の製造・販売を行う。20年8月の稼働を目指し、ゾルバ約1万トン、合金生産7,000トンを見込む。

山本隆章社長は、インドでの事業評価について「自動車市場は年間400～500万台で、潜在的な伸びしろがある」と指摘。また、現地政府が投資促進策を打ち出していることも今回の子会社設置の判断を後押ししたと述べた。

新会社は今後、インド国内でのシェア拡大に加え、東南アジア諸国連合(ASEAN)地域に展開する他拠点との連携で効率的な事業展開を目指す。

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
 亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3
 電話 06-6471-2531～5
 FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5
 電話 03-3618-2351～2

CKサンエツ

第2四半期連結決算

過去最高の売上、経常利益

CKサンエツ（富山県高岡市、釣谷宏行社長）は14日、2019年3月期第2四半期（2018年4月1日～同年9月30日）の連結業績を発表した。主力の伸銅事業が牽引し、売上高、経常利益ともに過去最高となった。伸銅品販売数量も過去最高を記録した。

釣谷社長は「最高益になったのは主力の伸銅事業の相場が高めだったことによるもの」と気を引き締め、「下期は大崩れしないと思っているが、来期以降は景気が減速する」と予測した上で①設備投資②新卒・中途採用を含め優秀な人材の確保③M&Aに注力していく考えだ。

上期の売上高は前年同期比10.9%増の435億8500万円、営業利益は同16.7%減の22億9900万円、経常利益は同1.0%増の24億7700万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同6.3%減の14億2300万円となった。

各セグメントの経営成績は以下の通り。

▶伸銅…伸銅事業は、販売量は過去最高の5万3485トン（前年同期比0.1%増）。売上高は367億3900万円（同10.4%増）となり、セグメント損益は14億6000万円（同35.5%減）のセグメント利益となった。

▶精密部品…精密部品事業は、売上高は22億800万円（同11.1%増）となり、セグメント損益は1億3900万円（同369.2%増）のセグメント利益となった。

▶配管・鍍金…配管・鍍金事業は、売上高は46億3700万円（同15.5%増）となり、セグメント損益は5億6100万円（同68.8%増）のセグメント利益となった。

設備投資については、上期は7億1000万円、下期に



決算説明する釣谷社長

は13億3000万円を予定している。上期の主な設備投資は、サンエツ金属砺波工場のコンパインドマシンに2億4000万円を投資した。下期はサンエツ金属に基幹システムおよび周辺機器に5億8400万円、同砺波工場に特別高圧受電設備に2億5000万円、シーケー金属の工場用地に1億1400万円などの投資を計画している。

通期業績については、売上高は過去最高となる前期比7.9%増の900億円、営業利益は同17.5%減の50億円、経常利益は同13.5%減の51億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同12.0%減の32億円を見込んでいる。伸銅品販売については10万6800トンを見込んでいる。

「TOP工場」を新設予定

CKサンエツ

CKサンエツ（富山県高岡市、釣谷宏行社長）は、事業子会社で配管機器メーカーのシーケー金属が工場の隣接地を購入し、リケンCKJVがその土地に工場を新築すると発表した。名称は「TOP工場」。2019年8月の完成を予定している。主な生産品種は、トップジョイントと呼ばれるハウジング形接合の継手類を予定。

近年、製品の種類や受注量が増加し、工場の生産量も増加していたが、既存の敷地だけでは作業スペースや設備を点在させている状況であり、無駄な運搬作業が発生し非効率な生産体制となっている工程があった。また、無人搬送ラインを導入することで工場が手狭になる傾向にあった。

こうした問題を解消する目的として、工場の隣接地（7326㎡）の購入を進め、購入した土地に工場を建設する。建築床面積は約3000㎡、土地と建物を合わせて約6億円を投資する。

点在している設備や工程を集約することで生産性を向上させ、新たに生産設備を導入し、今後の増産にも柔軟に対応できる生産体制を整備する。新工場には、配管機器の製品開発や品質管理に使用する試験研究設備も収容し、製品開発や品質管理の作業効率の向上にもつなげていく。また、工場で発生する廃材を完全密封型の屋内で保管する場所も整備し、作業環境などの改善を図っていく考えだ。

アルミニウム地金

アルミニウム原料

熟練ポット炉技術で歩留まりUP!

井関金属株式会社

代表取締役 井関親亮

〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407

☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667



亜鉛建値は9,000円引き上げの35万2,000円 11月の月内建値平均は34万5,600円

三井金属鉱業は16日、電気亜鉛建値を9,000円引き上げの35万2,000円にすると発表、同日より実施した。

11月の月内建値平均は34万5,600円。16日入電のLME亜鉛相場のセツルメントが2,655.00ドル、16日の東京市場の米ドルTTSレートは114.65円。この値で換算した採算価格は30万4,300円。建値と採算価格から見た諸掛かりは4万7,700円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(単位キロ当たり円、カッコ内は改定日)。

2018年

□ 6月	385(1)403(6)406(13)319(19)355(26)	平均389.0
□ 7月	307(2)352(5)340(11)328(17)340(20)343(25)	平均345.6
□ 8月	349(1)340(7)298(16)307(21)334(27)	平均328.5
□ 9月	325(3)316(10)298(18)343(25)	平均320.5
□ 10月	352(1)358(4)346(12)355(23)352(26)	平均351.9
□ 11月	337(1)343(9)352(16)	平均345.6



錫建値は50円引き上げの3,650円 11月の月内建値平均は3,620円

三菱マテリアルは16日、高純度錫地金(99.99%＝フォーナイン)の販売価格を50円引き上げの3,650円にすると発表、同日より適用した。11月の月内建値平均は3,620円。

直近6か月の価格推移は次の通り(円/キロ、カッコ内は平均)。

2018年

□ 6月	3,700(1)3,750(15)	平均3,730
□ 7月	3,650(2)3,600(10)	平均3,610
□ 8月	3,650(1)3,550(17)	平均3,590
□ 9月	3,550(3)	平均3,550

□ 10月	3,600(1)	平均3,600
□ 11月	3,600(1)3,650(16)	平均3,620

日刊金属

購読料	12カ月	72,000円(税別)
	6カ月	36,000円(税別)
外電配信料	12カ月	84,000円(税別)
	6カ月	42,000円(税別)



銅合金地金標準販売価格を決定

近畿青銅会

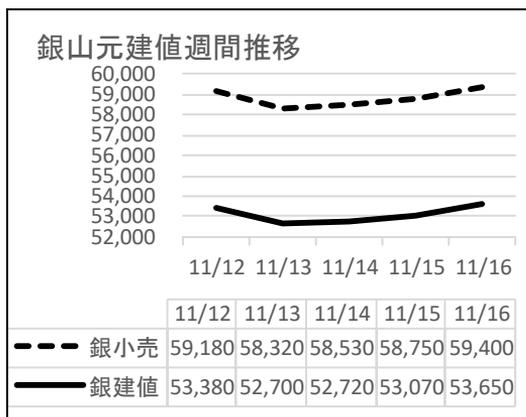
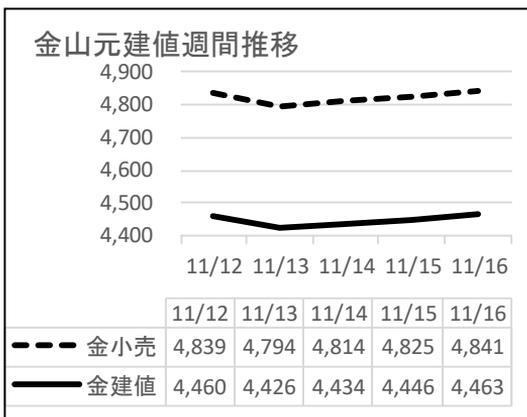
近畿青銅会(高木健会長)は、11月16日付で銅合金地金標準販売価格を改定。各種品目の標準販売価格は次

の通り(単位：キロ当たり円、カッコ内は前回比)。
◇青銅BC1種 800円(0)◇青銅BC2種 980円(+5)◇青銅BC3種 1,025円(+5)◇青銅BC6種 855円(0)◇青銅BC7種 895円(+5)◇黄銅YBSC3種 705円(0)◇鉛青銅LBC3種 990円(+5)◇りん青銅PBC2種 1,045円(+5)



金銀山元建値週間推移 11月12日～11月16日

10月平均	建値	小売
金(¥/g)	4,433.05	4,802.77
銀(¥/kg)	54,310	60,126





銅建値は2万円引き上げの75万円

11月の月内建値平均は74万4,000円

JX金属は16日、電気銅建値を2万円引き上げ75万円にすると発表、同日より実施した。11月の月内建値平均は74万4,000円。16日入電のLME銅相場のセツルメントが6,188.00ドル、16日の東京市場の米ドルTTSレートは114.65円。この値で換算した採算価格は、70万9,400円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万0,600円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2018年

□ 6月	780(1)810(5)840(7)810(19)790(22)	平均811.5
□ 7月	780(2)750(5)730(12)720(20)730(25)	平均740.4
□ 8月	750(1)730(3)720(8)710(15)690(20)700(23)720(28)	平均716.0
□ 9月	710(3)700(6)710(13)720(19)750(25)	平均707.7
□ 10月	750(1)770(4)750(9)740(16)730(19)740(24)	平均744.7
□ 11月	720(1)760(5)740(8)730(13)750(16)	平均744.0



黄銅削粉買値は16円引き上げ553円

関西の黄銅棒大手N社と三菱伸銅は16日、黄銅削粉買値を16円引き上げの553円にすると発表した。今月5回目の改定。

故銅市況

16日入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場の直物前場売値が、前日の6,106.00ドルより82.00ドル高の6,188.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,118.00ドルより94.00ドル高の6,212.00ドル。カーブ取引は前日の6,090.00ドル～6,091.00ドルより93.00ドル高の6,183.00ドル～6,184.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(11月限)は前日の270.95セントより3.95セント高の274.90セント。SHFE(上海先物取引所)の銅相場(11月限)は、前日の4万8,840円より190元高の4万9,030元。

16日の東京為替市場TTSレートは、前日の114.67円より0.02円の円高ドル安で1ドル=114.65円。NYカーブLME先物比は6.50ドル安。16日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,188.00ドル。この値と16日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の74万円より9,000円高の74万9,000円。この日、電気銅建値は75万円に引き上げられた。

為替動向

16日午前の東京外国為替市場で円相場は小幅な値動きとなった、午前9時の気配値は、1ドル=113.56円～113.59円、前日の17時時点に比べ0.04の円安・ドル高。

15日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は1ドル=113.20～113.30円、前日の同時刻比0.70円の円高・ドル安だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比横ばいの1ドル=113.57円～113.67円で取引を終了した。

欧州連合(EU)からの離脱をめぐり、英国では担当閣僚が辞任するなど混乱が出ている。ニューヨーク市場では、英国政局の先行き不透明感から円買い・ドル売りが先行した。一方、月末の主要20か国・地域首脳会議(G20)に向け、貿易摩擦を抱える米国と中国が協議を促進していると報じられると、警戒感の後退から米株式市場が上昇。この局面で円売り・ドル買いが入り、前日と同水準での値動きとなった。レンジニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、113.10円～113.71円だった。

東京市場では、英国の政局混乱が円買い・ドル売り材料となる一方、米株式市場の上昇を受けた円売りも見られた。ただ、一時的に持ち高を傾ける動きは出ておらず、朝方からもみ合う展開となった。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が619～624、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは600～605、並銅は539～544、込銅(高品位=約97%)は499、セバは547～552。コーベルは要り用筋で478、それ以外は470ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋433、それ以外416～441どころの値頃。並青銅鋳物削粉は468～473どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が602～607、上銅新くずが589～609、普通上銅が556～566、2号銅線が562～572、並銅が527～528、込銅(90-93%)が486～453、下銅が288～338、セバが514～524、コーベルが470～510、黄銅棒地が466～471、黄銅削粉が374～421、黄銅ラジが411～419、交叉ラジが340～351、黄銅銅鋳物が374～381、送りが189～204、上青銅鋳物が478～494、並青銅鋳物が470～483、上青銅鋳物削粉が475～494、並青銅鋳物削粉が468～472どころ。

亜鉛くず 現金高価買受け
亜鉛ドロス・滓 ご照会どうぞ

再生亜鉛精錬

日進産業株式会社

代表取締役 星山えり

〒580-0006 松原市大堀1丁目7-30
TEL 0723-31-3945代表
FAX 0723-31-3974



LME銅は反発 米中貿易交渉の進展に期待感
カーブ取引は続伸 COMEX銅相場も続伸 SHFE銅相場も続伸
LME非鉄相場総じて堅調 アルミは反落
亜鉛は反発、およそ4%高、LME在庫は13万トンを割り込む

16日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,105.50ドルより82.00ドル高の6,187.50ドル。3か月物も、前日の6,085.25ドルより87.25ドル高の6,172.50ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の16万7,000トンより約1,000トン減のおよそ16万6,000トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（11月限）は、前日の270.95セントより3.95セント高の274.90セント。カーブ取引は、前日の6,090.00ドル～6,091.00ドルより93.00ドル高の6,183.00ドル～6,184.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（11月限）は、前日の4万8,840元より190元高の4万9,030元。

米当局筋から情報として「米中の貿易摩擦を緩和する措置を講じる用意がある」との文書が中国側より米国に送付されたと一部のメディアが報じたことから「貿易戦争」の終結に向けた再交渉の可能性がにわかに浮上。銅をはじめとする多くの商品相場で購入を促す好材料となった。

錫は続伸

LME錫相場の直物は、前日の1万9,342.50ドルより107.50ドル高の1万9,450.00ドル。3か月物も、前日の1万9,300.00ドルより100.00ドル高の1万9,400.00ドル。

鉛も続伸

LME鉛相場の直物は、前日の1,918.00ドルより24.00ドル高の1,942.00ドル。3か月物も、前日の1,947.50ドルより16.75ドル高の1,964.25ドル。

亜鉛は反発

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,541.50ドルより113.00ドル高の2,654.50ドル。3か月物も、前日の2,479.50ドルより104.25ドル高の2,583.75ドル。

非鉄金属全般
銅 滓・新棒コロ

誠実対応の高田商店

代表者 高田才吉

〒544-0001 大阪市生野区新今里7丁目11-11

☎ 06-6753-1643
FAX 06-6753-4545

アルミは反落 アルミ合金は続伸 北米特殊アルミ合金はまちまち

LMEアルミ相場の直物は、前日の1,930.50ドルより14.00ドル安の1,916.50ドル。3か月物も、前日の1,944.00ドルより3.75ドル安の1,940.25ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,375.00ドルより5.00ドル高の1,380.00ドル。3か月物も、前日の1,400.50ドルより2.00ドル高の1,402.50ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,377.50ドルより4.00ドル高の1,381.50ドル。3か月物も、前日の1,400.00ドルより10.00ドル安の1,390.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ105万7,000トンより約1,000トン増のおよそ105万8,000トン。

ニッケルは反発

LMEニッケル相場の直物は、前日の11,222.50ドルより115.00ドル高の11,337.50ドル。3か月物も、前日の11,277.50ドルより167.50ドル高の11,445.00ドル。

故銅・銅滓
アルミ原料

高価即金買入
——ご照会を乞う。

森 下 商 店

大阪市西成区南津守 7-12-46
TEL (06)6659-5577~8
FAX (06)6659-5579

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(11月前半)

2S=194円～202円、63S=191円～195円、アルミホイール(1P)=186円～191円、ビス付サッシ=140円～144円、エンジンコロ=146円～148円、込合金(機械鋳物)=142円～144円、缶プレス(ソフト)=109円～123円。

関西地区(11月前半)

2S=189円～197円、63S=187円～191円、52S=199円～203円、印刷版=192円～197円、アルミホイール(1P)=175円～180円、ベースメタル=199円～204円、機械鋳物=146円～151円、ダライ粉=118円～120円、ビス付サッシ=141円～146円、缶プレス=124円～129円。

LME公式値 (単位：ドル) / 11月15日 (現地)

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル	
直物	公式値	6,187.50	19,450.00	1,942.00	2,654.50	1,916.50	1,380.00	1,381.50	11,337.50
	前営業日比	82.00	107.50	24.00	113.00	▲ 14.00	5.00	4.00	115.00
先物	公式値	6,172.50	19,400.00	1,964.25	2,583.75	1,940.25	1,402.50	1,390.00	11,445.00
	前営業日比	87.25	100.00	16.75	104.25	▲ 3.75	2.00	▲ 10.00	167.50

海外非鉄金属相場

(11月16日 入電・現地 11月15日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day, previous month, and high prices.

フリー・マーケット
■米国生産者価格
銅(セント/ポンド)
銀(セント/オンス)HH社 1427.4

■NY相場
取引業者銅(セント/ポンド) 256.4 ~ 257.4
2号銅線くず(セント/ポンド) 353.35 ~ 357.35

■ロンドン相場(ドル)
金(オンス) 1211.9
アンチモン99.6%(トン) 8300 - 8400
ピスマス99.99%(ポンド) 4.10 - 4.50
カドミウム99.99%(ポンド) 1.20 - 1.30
インジウム99.97%(キロ) 195 - 245
セレンウム99.5%(ポンド) 14.00 - 15.00
スポンジチタン99.5%(キロ) 6.00 - 7.00
フェロモリブデン欧州産(キロ) 29.00 - 29.20
コバルトカソード99.8%(ポンド) 33.00 - 34.00
マグネシウム中国産99.9%(トン) 2600 - 2675
タングステンAPT(MTU単位) 280 - 290
タンタル鉱石30-35%(ポンド) 85 - 90

■K L T M 錫 (Mドル/キロ、出来高トン)
(15日) (16日)
相場 81.32 81.20
出来高 11 27
ドル建て価格 19410 19370
ODレート 3.7600 3.7600
M\$/US\$レート 4.1897 4.1920
採算円/キロ 2485 2481
US\$採算円/キロ 2230 2225

LME在庫(トン)
在庫 増減
銅 166,450 ▲ 625
錫 3,010 0
鉛 110,900 ▲ 75
亜鉛 125,400 ▲ 5,500
アルミ 1,058,125 675
アルミ合金 12,860 0
北米特殊AL合金 140,160 ▲ 220
ニッケル 216,174 ▲ 132

コメックス銅在庫(トン) 147,742 ▲ 1,268

上海在庫(トン)
銅 142,234 ▲ 5,308
アルミ 780,808 ▲ 20,897
亜鉛 37,378 ▲ 7,146
鉛 9,434 1,390

NYカーブ
銅 6201.00 ~ 6202.00 102.00
アルミ 1937.00 ~ 1938.00 ▲ 4.00

NYコメックス相場
出来高: 1 ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント
銅HG 金 銀 プラチナ パラジウム
11月限 274.90 1212.8 1423.7 842.3 1154.00
12月限 274.65 1215.0 1426.3 843.5 1137.40
1月限 275.40 1218.6 1430.4 845.3 1135.20
2月限 276.00 1221.1 - - -
3月限 276.30 - 1438.6 - 1131.20
前日比 3.95 4.9 18.2 11.5 27.20
出来高 107,121 260,008 83,319 - 9,443

上海相場
トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込
銅 アルミ 亜鉛 鉛
11月限 49030 13630 21530 18770
12月限 49200 13715 21365 18555
前日比 190 ▲ 65 5 145
出来高 3800 11120 1070 200

採算価格
フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)
為替相場 LME(円ベース/キロ) COMEX 上海
銅 錫 鉛 亜鉛 アルミ ニッケル 銅 銅 アルミ 亜鉛 鉛
TT S 6188 19475 1943 2655 1917 11340 275 49030 13630 21530 18770
114.65 6227 2433 260 344 231 1500 739 818 227 359 313
-0.02 + 5488 + 15 + 3 + 12 - 1 + 12 + 9 + 3 - 1 - 1 + 2

非鉄金属製品相場

(11月16日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	◎ 980	◎ 1010	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	◎ 990	◎ 1020	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	◎ 1150	◎ 1210	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	◎ 1190	◎ 1200	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	◎ 850	◎ 890	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	◎ 950	◎ 1010	軽圧品(仲値)	大阪	東京
銅条1.5×100	◎ 960	◎ 1010	アルミ箔0.007ミリ	945	935
銅線0.9ミリ	◎ 1040	◎ 1070	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	◎ 960	◎ 1010	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	◎ 1240	◎ 1250	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	◎ 820	◎ 840	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	◎ 845	◎ 860	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	◎ 1000	◎ 1050	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	◎ 1395	◎ 1350	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	◎ 1345	◎ 1370	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	◎ 660	◎ 700	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	◎ 690	◎ 730			
四角棒	◎ 720	◎ 760	貴金属(一般小口向け)		
鍛造用	◎ 700	◎ 740	白金(グラム)	◎ 3426	
ネーパル	◎ 800	◎ 840	パラジウム(グラム)	◎ 4638	
高力	◎ 800	◎ 840	金(グラム)	◎ 4841	
黄銅線6ミリ	◎ 1070	◎ 1120	銀(キログラム)	◎ 59400	
黄銅平角線ロール仕上	◎ 1260	◎ 1325			
黄銅条1.5×100	◎ 815	◎ 865	レアメタル輸入価格	9月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1860	1840	金属ケイ素(99.99%未満)	236	
〃 バネ用0.3ミリ	2080	2050	モリブデン酸化物	2218	
リン青銅棒25ミリ	2130	2140	タンタル	52046	
リン青銅線3ミリ	2280	2260	マグネシウム	283	
洋白板一般用1.0ミリ	2690	2670	コバルト	9670	
〃 バネ用1.0ミリ	2880	2860	インジウム	30619	

合金鉄	9月輸入単価 (CIF)
フェロマンガ2%以上炭素含有	135
〃 その他	271.5
フェロシリコン55%以上	170
フェロクロム4%以上炭素含有	153.9
フェロモリブデン純分60%以上	2028
フェロバナジウム	6649
フェロニッケル33%未満	427.4
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

減摩合金 (500kg以上、大口価格)	11月16日改定		銅合金地金 (標準価格)	11月16日発表	
	大阪	東京		大阪	東京
1種	2705		BC 1種	800	—
2種	2635		2種	◎ 980	—
3種	2560		3種	◎ 1025	—
4種	2260		6種	855	—
5種	2180		7種	◎ 895	—
7種	885		YBSC 3種	705	—
8種	795		LBC 3種	◎ 990	—
9種	710		PBC 2種	◎ 1045	—

